

“Brother or Brassiere?”

こんにちは。私はコロラド大学ボウルダー校のリー・ヘースンです。どうぞよろしくお  
願います。

世界には多様な国と言語があります。現代社会では英語が世界の共通語です。

でも、英語が母国語じゃない人たちには英語を話すのはもう大変な事です。同じように、

韓国人の私にとって韓国語じゃなく日本語を話すのは大変な事です。今日は私が最初に

経験した日本語のエピソードを紹介したいと思います。

私には日本人と結婚したおばがいます。そして、私は子供の時に三回くらい日

本へ行ったことがあります。その三回の旅行で、私はおばから生活に必要な言葉を習い

ました。例えば、“御なかが空いた。”や“お金がありません。”や“寒いです。”です。

私はたいてい冬に日本へ行ったから、“寒いです”はとても必要な言葉でした。

日本語と韓国語は少し似ています。例えば、日本語の“約束”は韓国語で [Ya

kSok]です。そして、“記憶”は [KiUk]です。本当に似ていると思いませんか。その時

私は10歳ぐらいでしたがこの事実がとても面白かったので、韓国語の単語を日本語で

は何と言うかよくおばに聞きました。私はその時から日本語に興味を湧いていたのかも

し  
知れません。

二千年にも、また日本へ行きました。私のいとは日本で生まれ育<sup>う</sup>って日本語<sup>そだ</sup>と基本的な英語<sup>きほんてき</sup>ができる<sup>こうこうせい</sup>高校生<sup>かいわ</sup>でした。その時の私はおばから習<sup>なら</sup>ったかんたんな日本語と学校<sup>がっこう</sup>で学<sup>まな</sup>んだ英語<sup>かいわ</sup>でい<sup>おもしろ</sup>とこと会話<sup>かんべき</sup>をしました。私は英語も日本語も完璧<sup>かんべき</sup>じゃなかったですが、い<sup>おもしろ</sup>とこと話すのはとても面白<sup>おもしろ</sup>かったです。い<sup>おもしろ</sup>とこと一緒に映画を見たりテレビを見たりする時に、私が分からなかった英語<sup>たんご</sup>の単語<sup>たんご</sup>や日本語の単語<sup>たんご</sup>をい<sup>おもしろ</sup>とこに聞<sup>き</sup>きました。すると、い<sup>おもしろ</sup>とこは英語<sup>じしよ</sup>の辞書<sup>ひ</sup>を引<sup>ひ</sup>いたり、ジェスチャー<sup>つか</sup>を使<sup>つか</sup>って教<sup>おし</sup>えてくれました。例えば、“フレンド”は自分<sup>じぶん</sup>の隣<sup>となり</sup>に人がいるとイメージして隣<sup>となり</sup>の人の肩<sup>ひと</sup>に手<sup>かた</sup>をかけてその人<sup>さ</sup>を指<sup>さ</sup>してくれました。

しかし、ある言葉<sup>ことば</sup>で私<sup>わたし</sup>が全然<sup>ぜんぜん</sup>分からなかった言葉<sup>ことば</sup>がありました。それで、会話<sup>かいわ</sup>を続ける<sup>つづ</sup>ことができませんでした。英語<sup>あに</sup>で“兄<sup>あに</sup>、弟<sup>おとうと</sup>、兄弟<sup>きょうだい</sup>”の意味<sup>い</sup>の、“Brother”と<sup>い</sup>言う単語<sup>い</sup>がありますが、い<sup>おもしろ</sup>とこは、それを「ブラザー」と言<sup>い</sup>ったんです。“友達”の<sup>い</sup>意味<sup>い</sup>の「フレンド」はジェスチャーでよく分<sup>わ</sup>かったんですけど、「ブラザー」は全然<sup>ぜんぜん</sup>分<sup>わ</sup>かりませんでした。なぜなら、韓国語では、「ブラザー」は“ランジェリー”の“ブラ<sup>ぜんぜん</sup>ジャー”を意味<sup>い</sup>するからです。それで、私はい<sup>おもしろ</sup>とこに「ブラザー」が何<sup>い</sup>の意味<sup>い</sup>か聞<sup>き</sup>いてみ<sup>み</sup>ました。い<sup>おもしろ</sup>とこは続<sup>つづ</sup>けてジェスチャーをし<sup>し</sup>てくれました。でも、私<sup>わたし</sup>が全然<sup>ぜんぜん</sup>分<sup>わ</sup>からな<sup>な</sup>か<sup>か</sup>ったので、つい<sup>つひ</sup>に辞書<sup>じしよ</sup>を開<sup>ひら</sup>いて私<sup>わたし</sup>に見<sup>み</sup>せました。その時<sup>はじ</sup>にな<sup>な</sup>って初<sup>はじ</sup>めて「ブラザー」が

兄弟の”Brother”だと分かりました。それで、私といとは一緒に笑いました。同じ英語から来た言葉を使っていたのに、会話ができませんでした。

私はこのエピソードで大事な事を経験しました。いとは私とその言葉をわかるまで最後まで説明するのを放棄しなかったのです。そして、私は時間が一寸かかりましたが、最後には意味がわかりました。

今、私はここで日本語を習っています。英語で日本語を習うのはとても難しいです。いつ大きな壁や大変な問題に出くわすかも知れません。しかし、いとこのように最後まで放棄しなければいつかその壁を乗り越えることができると私は信じています。そうすると、後でいとこと英語ではなく日本語で話すことも全然怖くないです。そのためのために、もっともつとがんばらなければだめだと思っています。今、私はスピーチコンテストに出るとい最初日本語の壁を乗り越えようとしています。とても大変でしたが、きっといい経験になると思って今日まで練習してきました。無事スピーチを終えることができ、今、とてもうれしいです。

審査員の方々、そして皆様、ご静聴どうもありがとうございました。